

# ロジスティクス基礎



## ①「特積みのセイノー」から「ロジのセイノー」へ

### 講義プログラム

①「特積みのセイノー」から「ロジのセイノー」へ

②物流とは？ロジスティクスとは？

<ロジスティクスの全体像>

- ③輸配送                      ⑦情報システム
- ④保管                        ⑧在庫
- ⑤荷役                        ⑨ロジスティクスコスト
- ⑥包装                        ⑩ロジスティクスと環境

ロードマップ		～2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～
課題	社会			生産人口減少 国内市場の縮小			
	物流		輸送の共同化・多様化			輸送の最小化	
			在庫供給量の安定化			需要に応じた供給量の最適化	
物流サービスの進化			製造・物流業務の省人化・ロボット化			製造・物流業務の完全自動化 物流リソースの最適化の加速（人・車両等）	
技術関連			物流におけるIoTの利用拡大			5G, AI, IoTなどの進化 物流データプラットフォームの整備	

現在、日本は少子化により、生産人口の減少や、国内市場の縮小などの課題を抱えています。

この課題のことを「日本の効率化」と呼びます。

物流業界においても影響は大きく、需要に応じた供給量の最適化やロボットの利用など、様々な対応が必要になってきています。

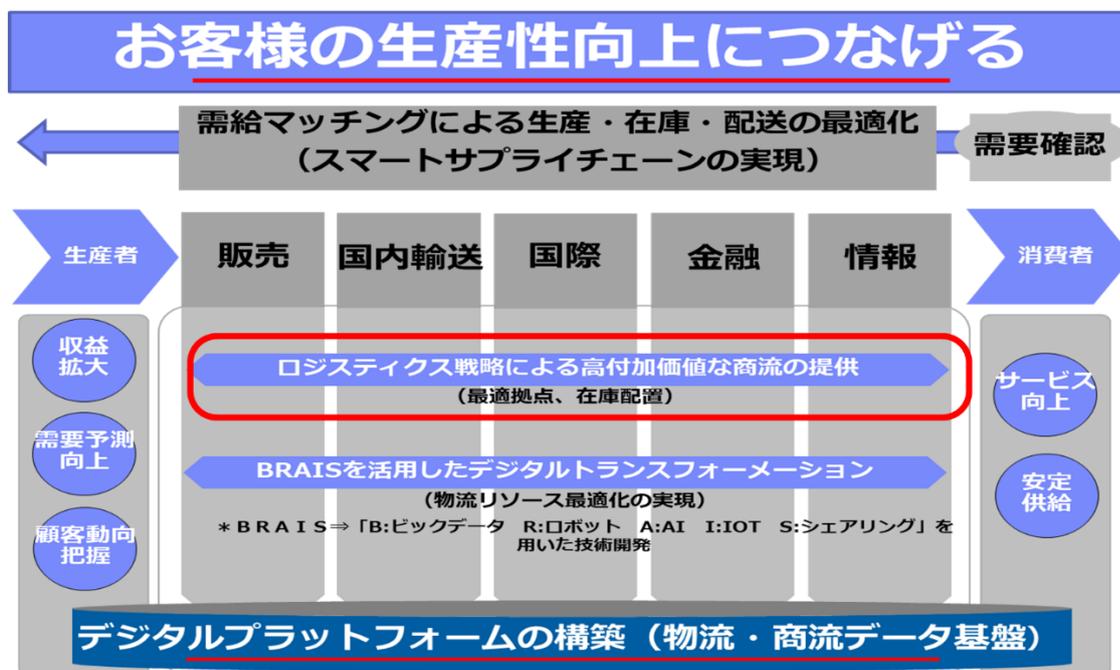
### 構築テーマ

- ①生産者と消費者をミニマムでつなく、サプライチェーンネットワーク
- ②情報の見える化、一元化に対応した物流データプラットフォームの整備
- ③ロジスティクス機能を活かした、最適拠点配置と適正在庫化
- ④供給量に応じた最適輸送モードの提供と協業による安定ネットワーク

当社においては、4つの構築テーマを掲げ、日本の効率化問題に取り組んでいます。

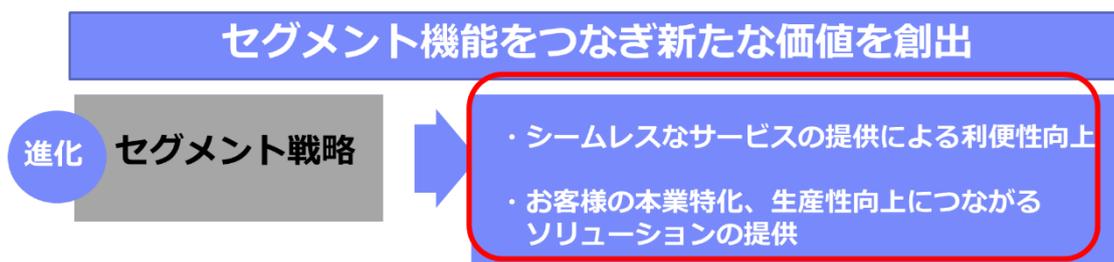
この講座では、3つ目のロジスティクスに注目していきます。

ロジスティクス機能を活かして、最高・最適な拠点を作り、適正在庫化を実現することや、他社との協業など柔軟な姿勢で、これらの課題を解決していきます。



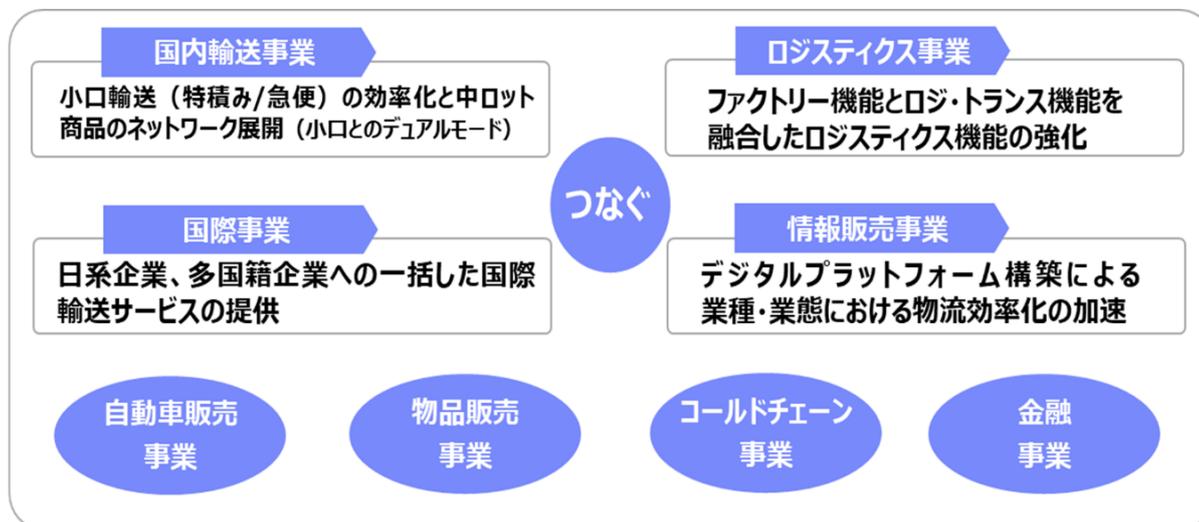
まず、ロジスティクスの全体戦略として「生産性向上」が挙げられます。

高付加価値な商流を提供することで、お客様の生産性を向上していくことができます。



細分化された戦略、いわゆるセグメント戦略では、細かく分けられた機能を繋いで新たな価値を創造していくことが求められます。

様々な分野の要素をつなぎ合わせて、一貫性のあるサービスを提供することで利便性の向上、**お客様が本業に集中できるサービスを提供することで生産性の向上**を目指します



当社で言うと、国内・国際物流、ロジスティクス、情報、コールドチェーンや金融などのセグメントを繋ぐことで、新たな価値を提供し、お客様の繁栄につなげます。

重点戦略とセグメント戦略を実現していくことで「特積みのセイノー」から「ロジのセイノー」への進化を目指します。



お客様の繁栄のために当社は5つの戦略を掲げています。中でもロジスティクスに関する項目は3つあります  
1つ目の「**ロジ・トランス機能の拡大**」として新たな拠点の開設を挙げています。  
ロジスティクスの2023年3月期売上目標は640億であり、これは2020年3月期セイノーホールディングスの売上高の10分の1に当たります。

## ■ロジ・トランス機能（ロジスティクス・トランスポートーション）

ターミナル施設上層階に、流通加工などの「ファクトリー機能」や「ロジスティクス機能」を提供する倉庫スペースを設置し、複合的な物流サービスを提供

「**ロジ・トランス機能**」とは、**ロジスティクスと、トランスポートーションを組み合わせたもの**で、西濃運輸独自の機能です。

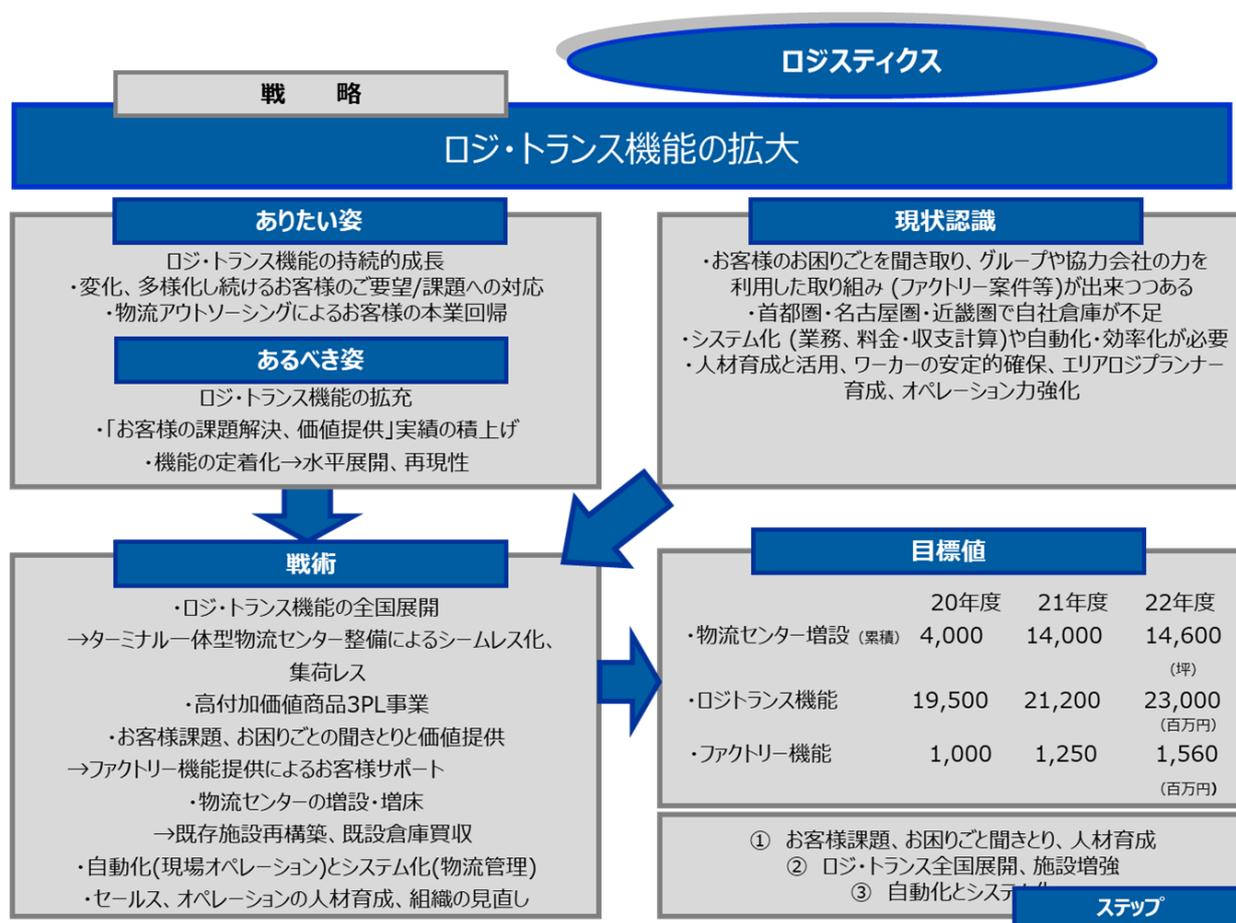
西濃運輸のターミナル施設上層階に、**流通加工などの「ファクトリー機能」や「ロジスティクス機能」**を提供する倉庫スペースを設置し、複合的な物流サービスを提供します。

## ■ファクトリー機能

在庫管理や出荷などの保管業務、流通加工や検品など、様々な製造工程に関わる付帯業務など、お客様のニーズに合わせて対応すること

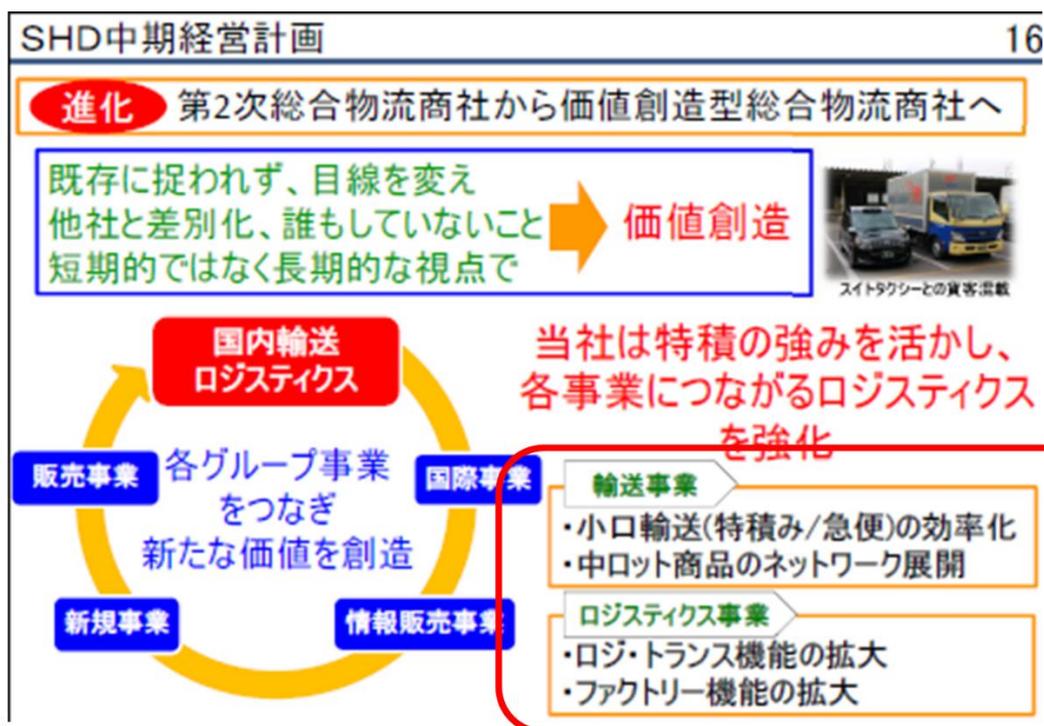


また「**ファクトリー機能**」とは、**通常の在庫管理や出荷などの保管業務のみならず**、お客様自身が行っている**流通加工や検品など様々な製造工程に関わる付帯業務の課題**に、全国の物流センターで行っている様々な作業実績から得たノウハウをもってお客様のニーズに合わせて対応することです。



当社の戦略の1つである **ロジ・トランス機能の拡大** についてよりわかりやすく説明した図です。

各セクションを確認しましょう。



今回は、当社がなぜロジスティクスに注力するのか、また当社の戦略について学びました。

当社の強みである「特積み」と「幅広い事業」により、お客様のニーズに寄り添った物流を提案、提供していきましょう。

①物流が抱える課題を克服し、**あるべき姿へ進化、挑戦し続けること**

②お客様が抱える課題を解決することで、新たな価値を提供し、お客様の繁栄に貢献し、**共生するパートナーとして、唯一無二な存在であること**

⇒お客様のあらゆる相談があなたの元に**一番最初**に入る

～2つを実現するために～

**お店の先導者として 物流の役割を理解してロジスティクスを展開していく**

この講座を受講している皆さんに期待されていることは2つあります。

**1つは、物流が抱える課題を克服し、あるべき姿へ進化、挑戦し続けること。**

**2つ目は、お客様に共生するパートナーとして、唯一無二の存在であることです。**

わかりやすく言い換えれば、お客様から第一に相談を受けるような存在であることです。

2つを実現するためには、お店の先導者として物流の役割を理解し、ロジスティクスを展開していくことが必要不可欠です。